

# 長崎南北幹線道路の概要と ルート選定の経緯について

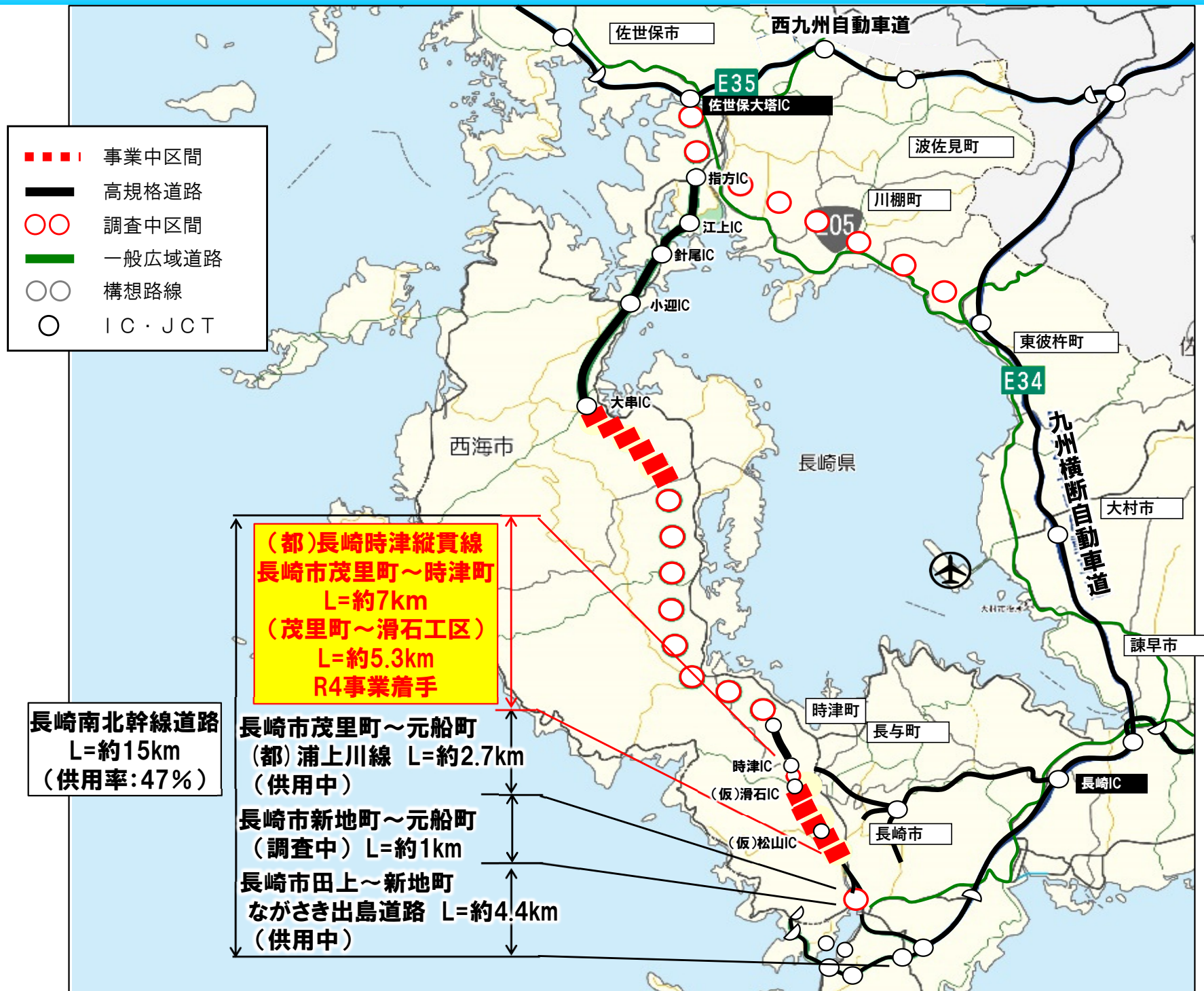
令和5年9月29日

長崎県長崎振興局

# 説明内容

1. 高規格道路 長崎南北幹線道路の概要と整備効果
2. ルート選定の経緯
3. 進捗状況及び今後の予定

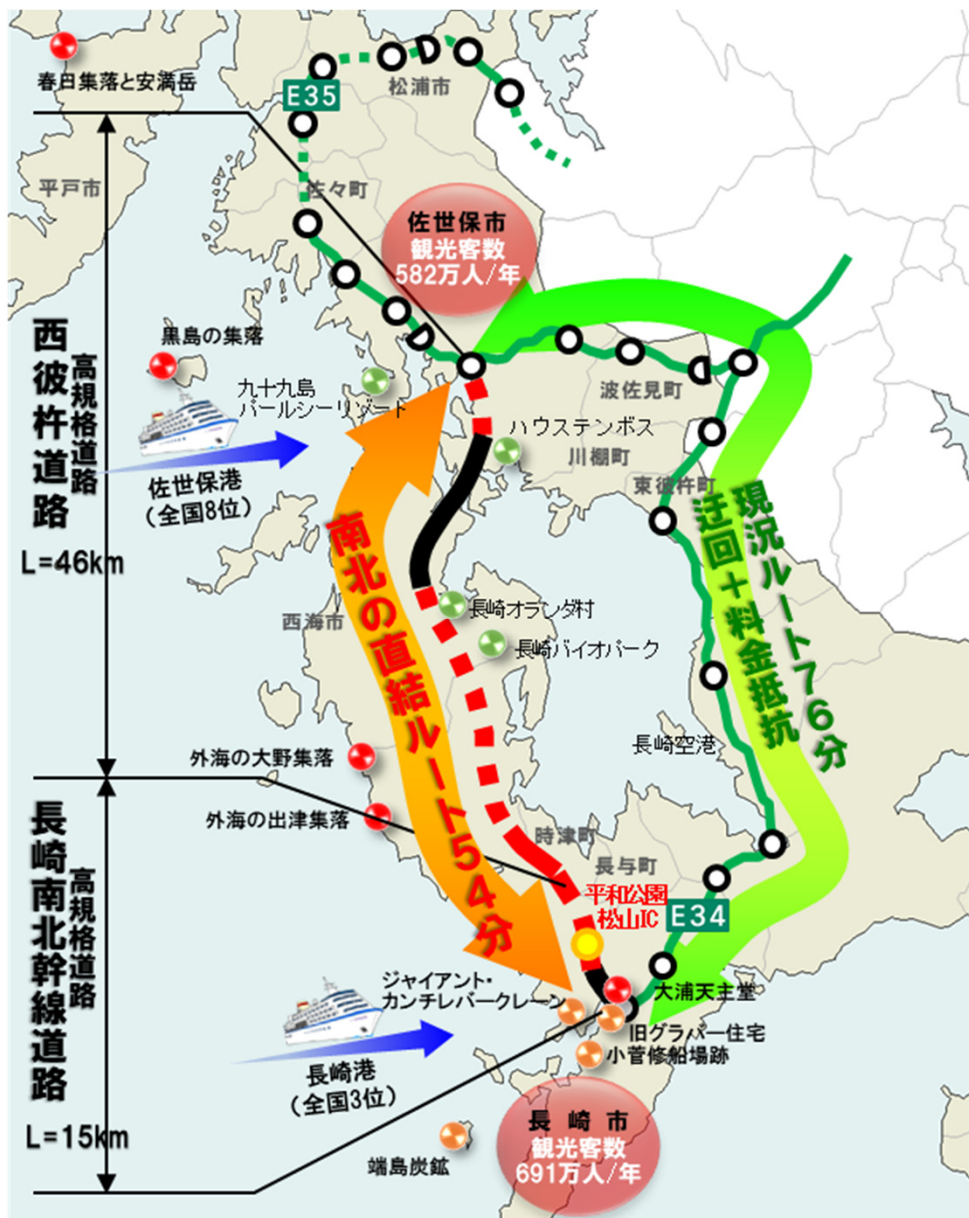
# 1. (1) 高規格道路 長崎南北幹線道路の概要



# 1. (2) 整備効果 (西彼杵道路+長崎南北幹線道路)

## ■高速移動の確保

高規格の道路ネットワークを形成し、主要都市間の移動時間短縮による地域間の連携強化や交流促進を図り、観光振興や産業振興などに大きく寄与する



### ●高規格幹線道路

全国的な自動車高速交通網を形成する自動車専用道路のこと。  
 高速自動車国道、本州四国連絡道路、一般国道の自動車専用道路などからなる。  
 ⇒ 長崎自動車道、西九州自動車道

### ●地域高規格道路

高規格幹線道路と一体となって自動車高速交通網を形成する自動車専用道路、もしくは同様の規格を有する道路のこと。  
 ⇒ 長崎南北幹線道路、西彼杵道路、島原道路など

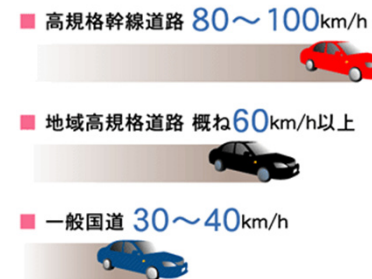


図 道路のサービス速度 (実際の走行速度)

### 長崎市と佐世保市の所要時間

	西彼杵半島経由	西九州道経由
H23末	93分	76分
現在	89分	76分
完成時	54分	76分



# 1. (2) 整備効果 (長崎市北部、時津町)

## ■国道206号のリダンダンシーの確保 (ダブルネットワーク)

- ・長崎市中心部 (長崎駅方面) から市北部や時津町への南北方向への幹線道路は国道206号のみ
- ・事故多発交差点が集中する国道206号は、交通事故が発生すると大規模な渋滞となり交通機能が大きく低下

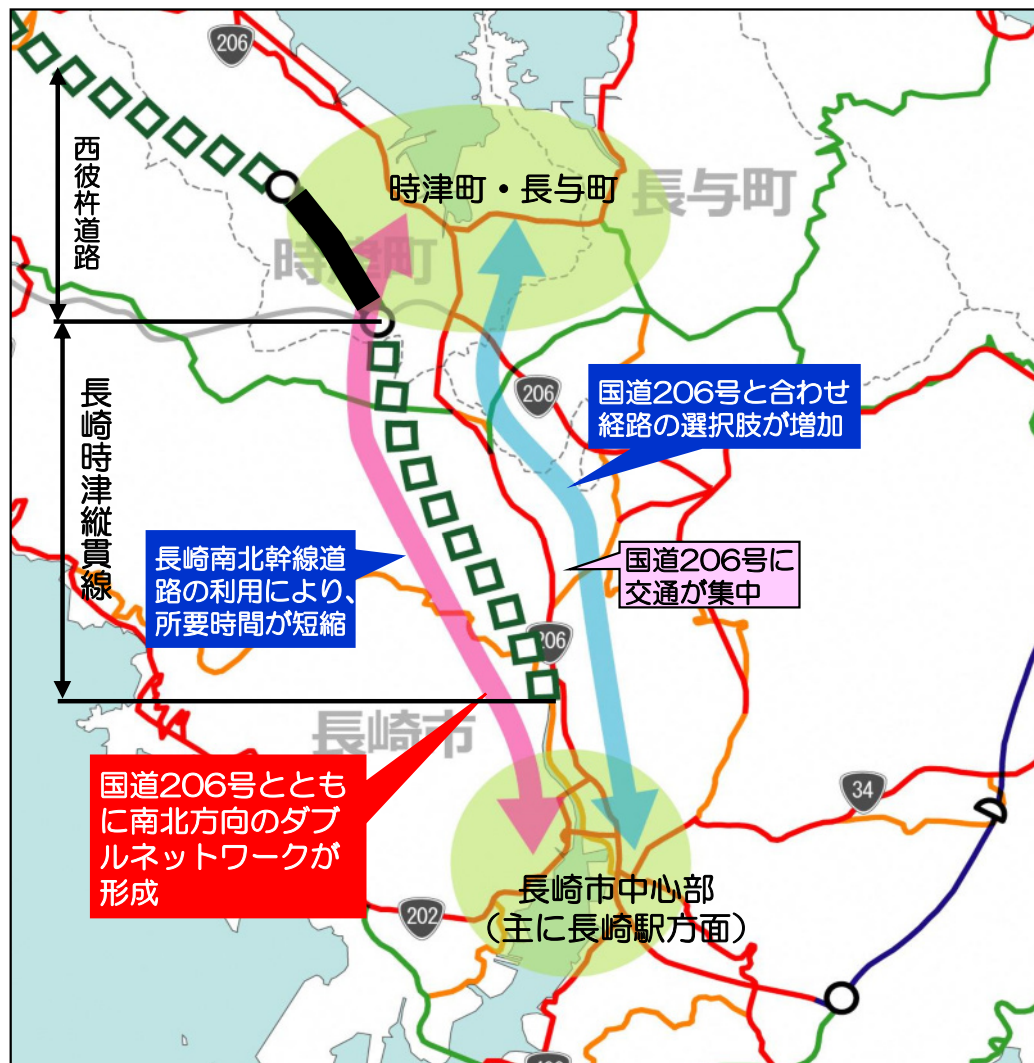
⇒長崎南北幹線道路の整備により、国道206号とともにダブルネットワークが形成、確実かつ効率的な活動支援

### ■国道206号の混雑、捕まる物流車両



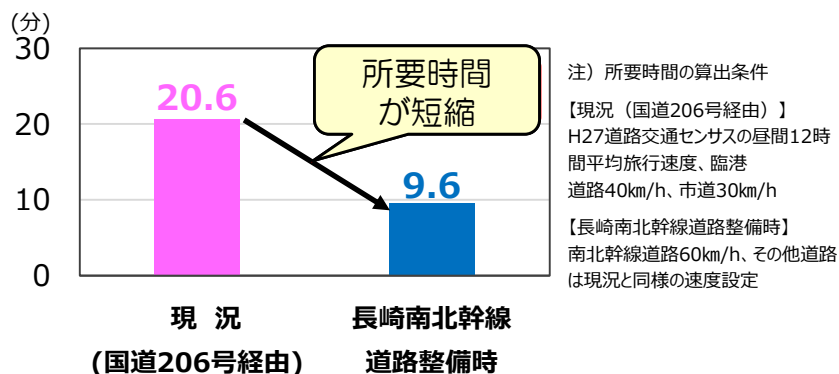
▼平成30年～令和4年 (5年間) の幹線道路の交通事故多発交差点 (県警察本部HP)

路線名	交差点名	市・町名	発生件数
国道202号	長崎駅南口交差点	長崎市大黒町	29
国道57号	鷺崎交差点	諫早市鷺崎町	26
国道34号	貝津交差点	諫早市貝津町	22
国道34号	小船越トンネル交差点	諫早市小船越町	22
国道206号	打坂交差点	長崎市滑石2丁目	21
国道202号	宝町交差点	長崎市宝町	20
国道35号	脇崎交差点	佐世保市大塔町	19
国道206号	北郵便局前交差点	長崎市川口町	19
国道206号	ココウォーク前交差点	長崎市茂里町	18
国道34号	西本村交差点	大村市西本町	17
国道206号	岩屋口交差点	長崎市岩屋町	17
国道206号	銭座町電停先交差点	長崎市目覚町	17
国道499号	常盤町交差点	長崎市大浦町	17
国道207号	宇都交差点	諫早市宇都町	16
国道34号	喜々津橋先交差点	諫早市多良見町団	16
国道206号	浦上車庫入口交差点	長崎市大橋町	16
国道34号	矢の平入口交差点	長崎市矢の平1丁目	16
国道206号	大橋交差点	長崎市松山町	15
国道202号	旭大橋東口交差点	長崎市大黒町	15
長崎市道	公会堂前交差点	長崎市魚の町	15



# 1. (2) 整備効果 (長崎市北部、時津町)

- 救急搬送の支援 : 長崎時津縦貫線利用に伴う所要時間短縮により、**救命率が向上**
- 救急医療体制の充実 : アクセス性向上に伴い医療施設間の連携が強化され、**救急医療体制が充実**



▲ 井手園交差点 (時津町) ~ 長崎大学病院間の所要時間【試算】

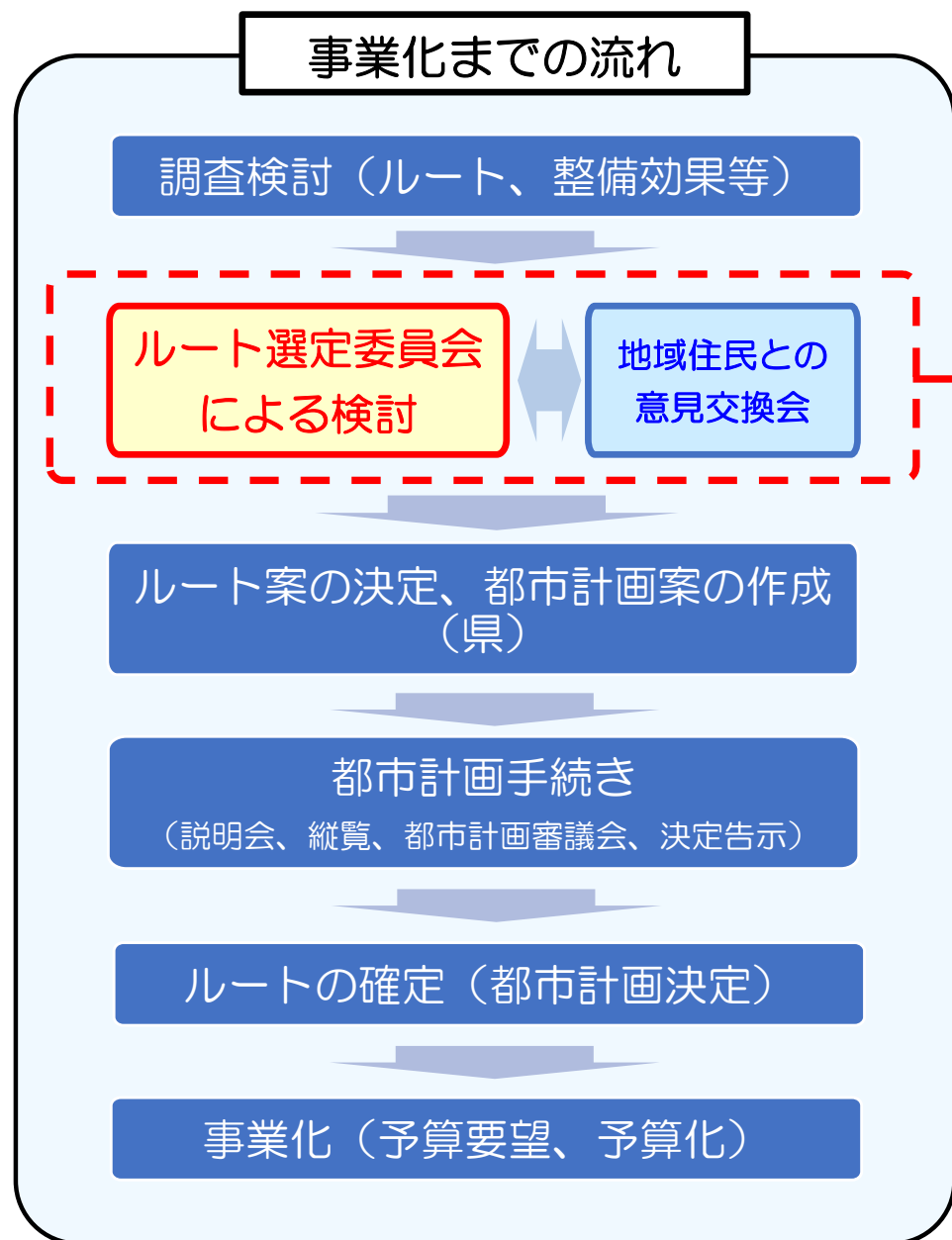


▲ 第二次・第三次救急医療施設



## 2. ルート選定の経緯（ルート選定委員会）

### ■長崎南北幹線道路ルート選定委員会の設置



### ●設置目的

#### 長崎南北幹線道路

- 広域的な高速道路ネットワークを形成する規格の高い道路
- 地域振興や観光・産業振興、防災面にとって、非常に重要

- 各分野の関係諸機関や学識経験者で構成する委員会を設置
- 各分野から幅広くご意見をいただきながらルート選定を進めていく
- 概ねのルート案（一定の幅をもったルート帯）を比較検討し、最適案の選定を行う

## 2. ルート選定の経緯（選定委員会の進め方）

### ■長崎南北幹線道路ルート選定委員会の進め方

#### 【ルート選定委員会】

○概略ルートについて検討

令和元年 9月 第1回委員会

11月 第2回委員会

令和2年 3月 第3回委員会

※委員メンバー

学識経験者、商工・経済、運輸・交通  
観光、救急医療分野の関係者10名



長崎南北幹線道路ルート選定  
委員会の様子(R1.9.27)  
(県庁会議室)

#### ルート選定委員会の進め方

第1回  
(R1.9)

- 委員会の設立
- 事業の必要性、整備効果について
- ルート選定の基本方針、評価項目（1次選定）
- 1次選定ルート（基本ルート）の提示
- 1次選定ルートの問題点等の整理

第2回  
(R1.11)

- 2次選定ルートの提示
- コントロールポイントの設定
- 2次選定ルートの評価（B,C区間は選定まで）
- 住民との意見交換会（簡易PI）の実施方針

R1.12~R2.2（延べ14回）

地域住民との意見交換会

第3回  
(R2.3)

- 地域住民との意見交換会の結果と対応
- 2次ルート選定（A区間）
- 最適なルート帯の選定 ⇒ 県へ提言（R2.3）

令和2年3月 ルート選定委員会から県への提言（提言書）



## 2. ルート選定の経緯（意見交換会）

### ■地域住民との意見交換会

#### 【地域住民との意見交換会】

令和元年12月～令和2年2月

○長崎市 11回開催

参加人数 延べ165名

○時津町 3回開催

参加人数 延べ28名

計14回、193名の参加



意見交換会の様子(R1.1.27)  
(緑が丘地区ふれあいセンター)

#### 【12月開催】

(区域) 長崎市・時津町

(目的) 一般市民や道路ユーザーなど  
幅広い意見を伺う

(内訳)

- ・長崎市：市民会館、県総合福祉センター、  
県庁、北公民館
- ・時津町：時津町役場（2回）

#### 【1月開催】

(区域) ルート帯に含まれる小学校区等

(目的) 主に地域に即した意見を伺う

(内訳)

- ・長崎市：  
城山（淵地区ふれあいセンター）、  
西町（緑が丘地区ふれあいセンター）、  
西北（西北・岩屋ふれあいセンター）、  
虹が丘（虹が丘公民館）、  
滑石（滑石公民館）、大園（大園団地集会所）、  
北陽（滑石地区ふれあいセンター）

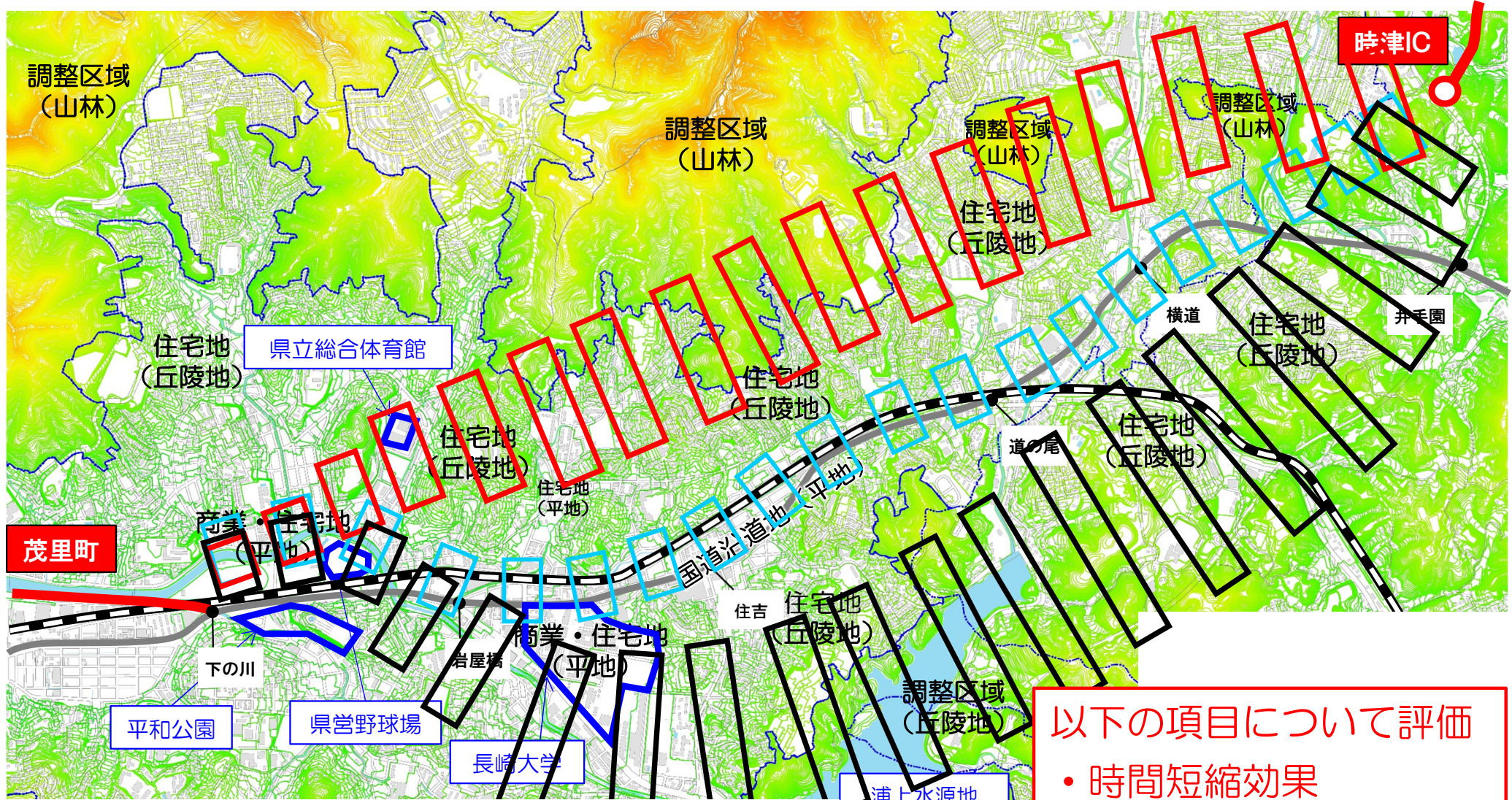
以上の小学校区

- ・時津町：元村・野田（時津町役場）



## 2. ルート選定の経緯（1次選定）

### ■ルートの1次選定（基本となるルートの選定）



第1案：市街地の中心軸を通るルート

第2案：市街地の西側を通るルート

第3案：市街地の東側を通るルート



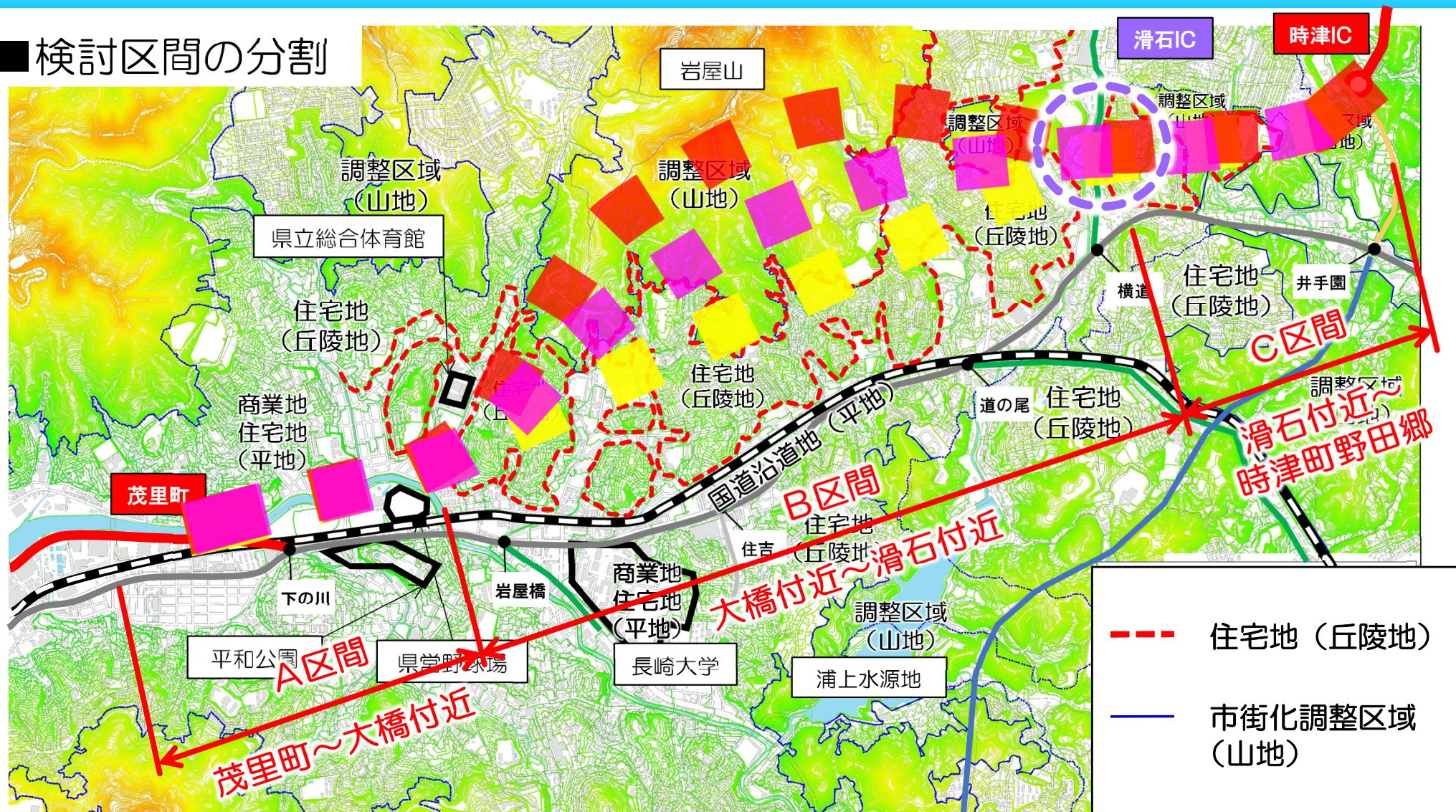
以下の項目について評価

- 時間短縮効果
- 既成市街地への影響
- 施工性
- 経済性（概算額）



## 2. ルート選定の経緯（2次選定）

### ■ 検討区間の分割



### 【説明】

• 地形条件違いから、3つの区間に分割

A区間（茂里町～大橋付近）

B区間（大橋付近～滑石付近）

C区間（滑石付近～時津町野田郷）

平地の区間

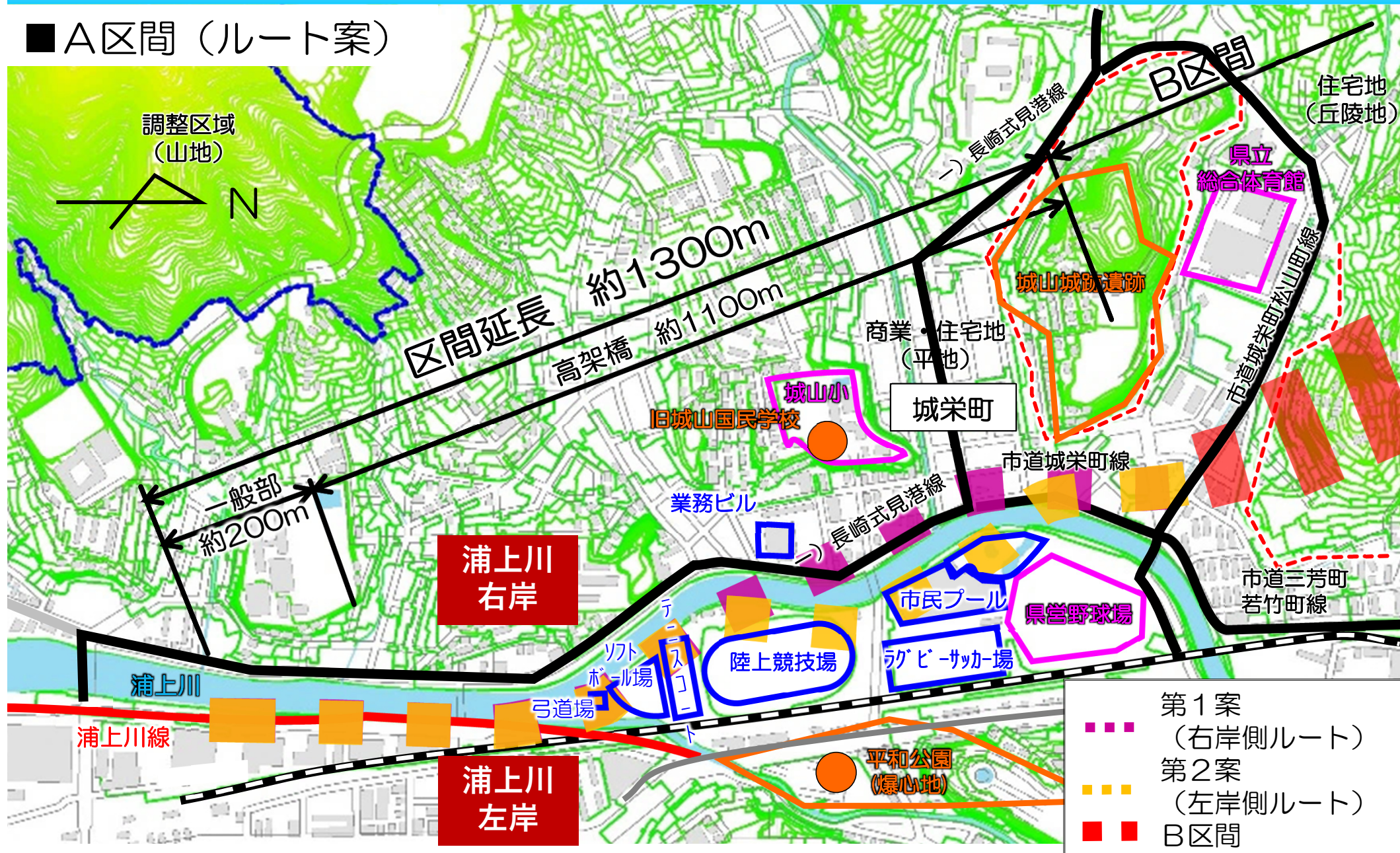
丘陵地や山地があり、地形の起伏がある区間

丘陵地や山地の区間



## 2. ルート選定の経緯（A区間の検討）

### ■ A区間（ルート案）

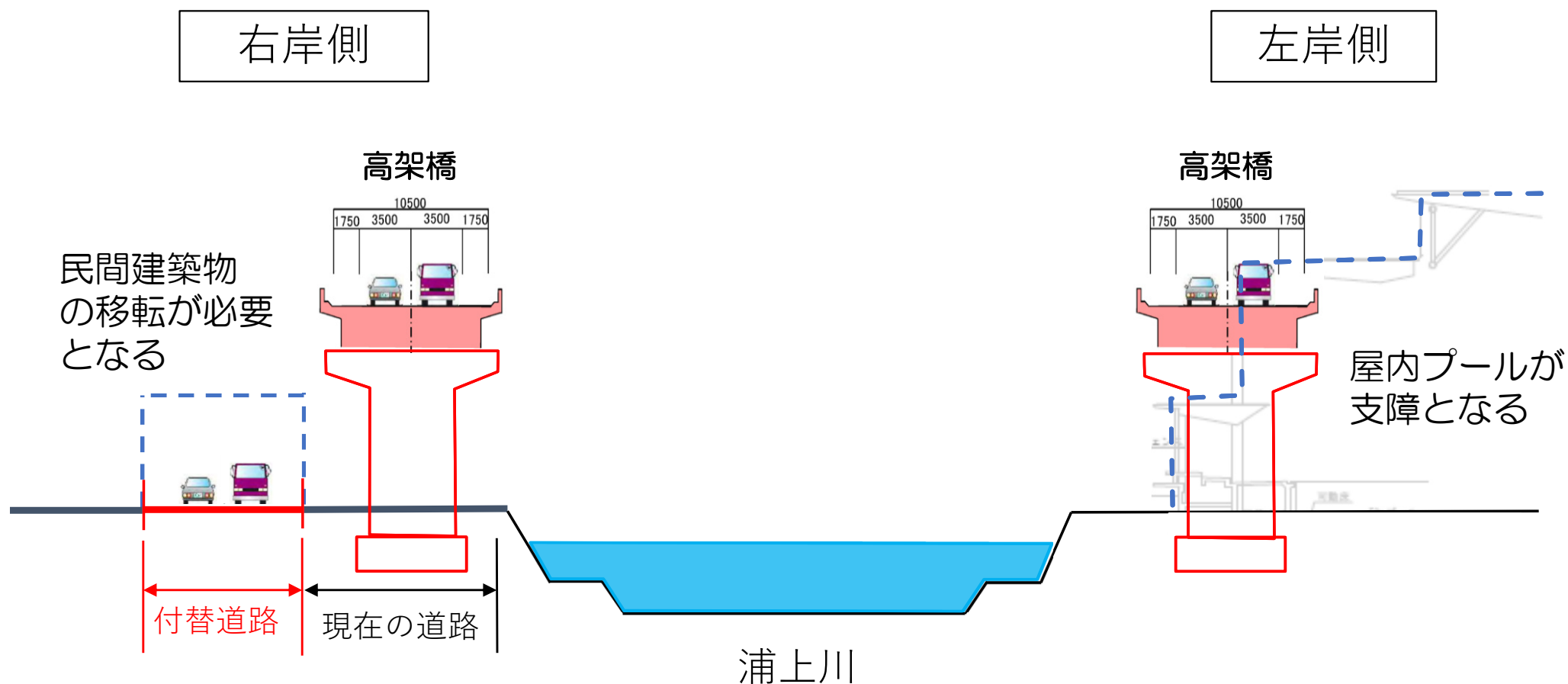


### 【ルート概要】

- ・コントロールポイント（移転が困難な施設）を回避し、浦上川の右岸と左岸にそれぞれ沿ったルート。
- ・第1案（右岸側）は「城栄町側」を通過し、第2案（左岸側）は「市民プール側」を通過する。



## 2. ルート選定の経緯（A区間の断面図）



- 既存の道路（県道）に橋脚を設置することになり、沿道の建物側に道路を付け替える必要がある

⇒道路を付け替えるために、多くの建築物の移転が必要となり、既存の市街地が大きく変化し、地域コミュニティへの影響が懸念される

- 屋内プールの移転が必要となる
- 公園機能への影響がある

## 2. ルート選定の経緯（A区間の航空写真）

### ■ A区間（ルート案・航空写真）

茂里町方向から時津方向をのぞむ



### 【現在の状況】

（右岸側）

城栄地区の商業・業務・住居系の建物が建ち並び

（左岸側）

陸上競技場、市民プール、県営野球場などが立地する

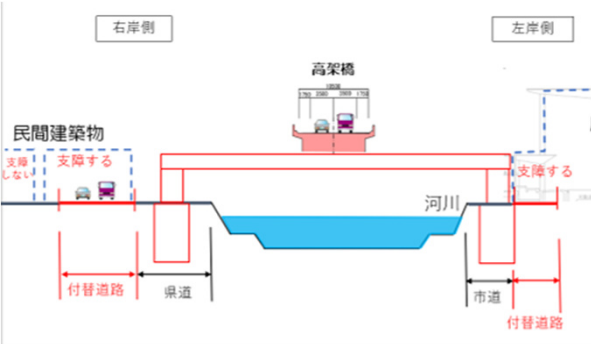
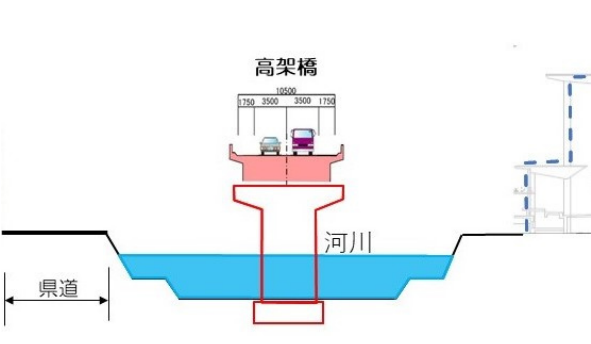
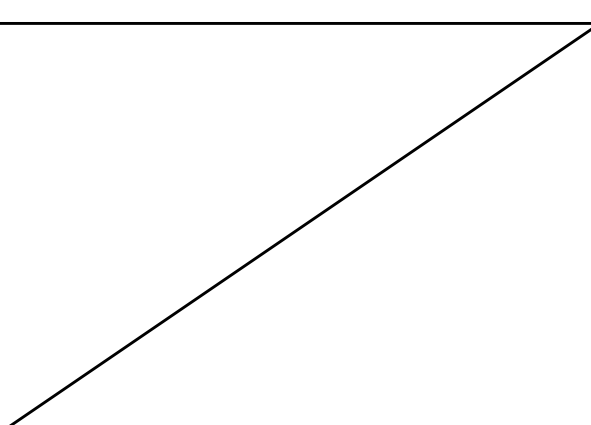
（地元意見交換会での意見）

- プール側を通るルートが、用地買収が少なく、地域への影響が小さく、計画が早く進むのではないかと

## 2. ルート選定の経緯（A区間：その他のルート案）

### ■ 様々な構造やルートの検討（A区間）

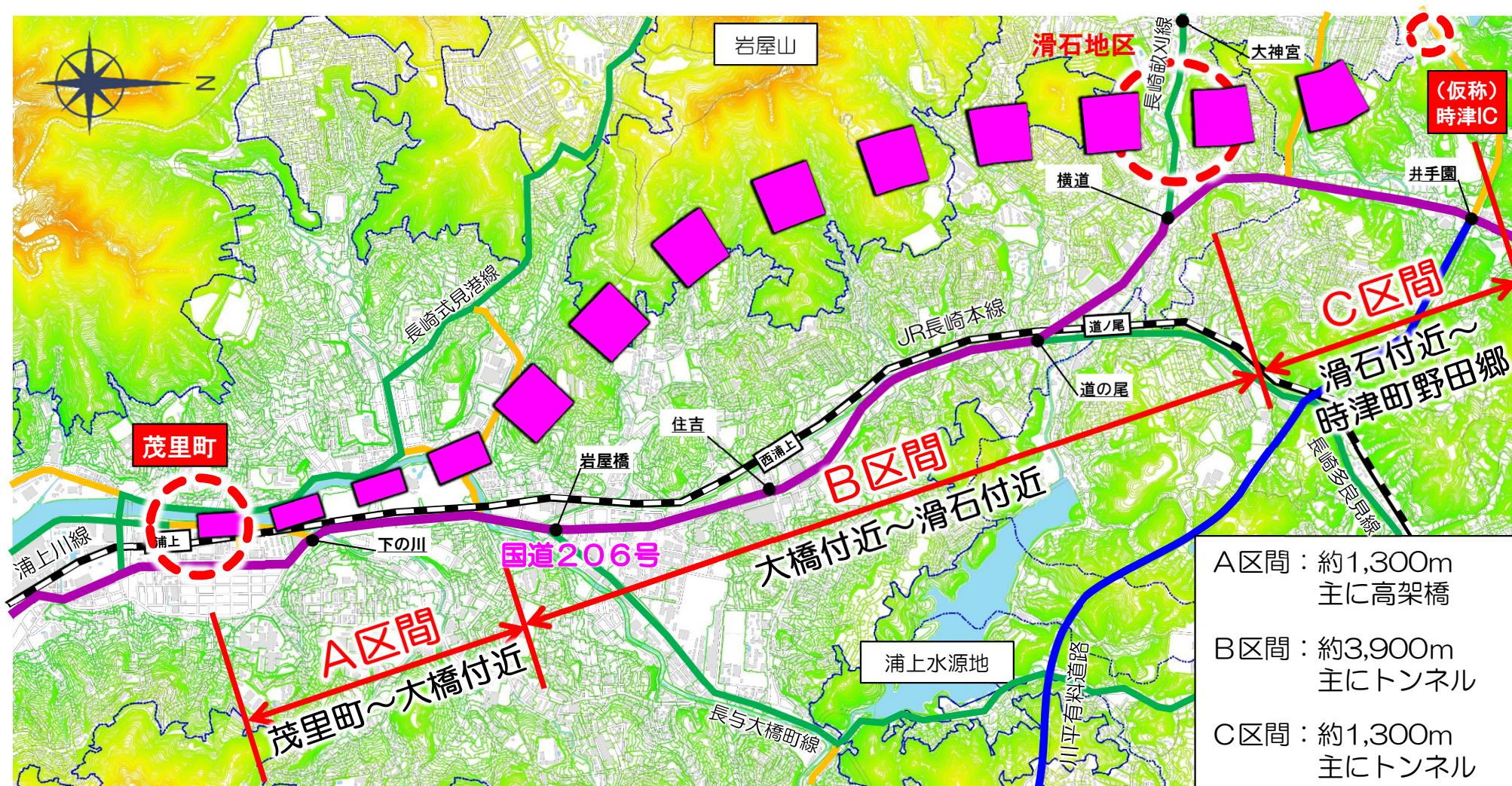
河川空間を通過するルート案、その他のルート案

特長	イメージ図	概要	評価
<p>河川を <u>門型橋脚</u>で またぐ</p>		<p>河川の両岸（市街地側、プール側）に、橋脚を設置する必要があり、多くの建物移転が生じる。</p>	<p>×</p>
<p><u>河川内</u>に 橋脚を 設置する</p>		<p>河川内に橋脚を設置する場合、必要な河川流下断面が不足する可能性が高い。</p>	<p>×</p> <p>両岸の建物に支障しない案であり、プールの真横を通過する案と同じ</p>
<p>全区間を <u>トンネル</u>と する</p>		<p>渡河部がサグとなり、ポンプ排水など維持費が嵩む。 降雨時、雨水の流入により安全が確保できない。 水底トンネルのため危険物積載車両の通行が規制される。</p>	<p>×</p>



## 2. ルート選定の経緯（選定ルート帯）

### ■平面図（選定ルート帯）



A区間：浦上川の左岸（公園側）を通るルート

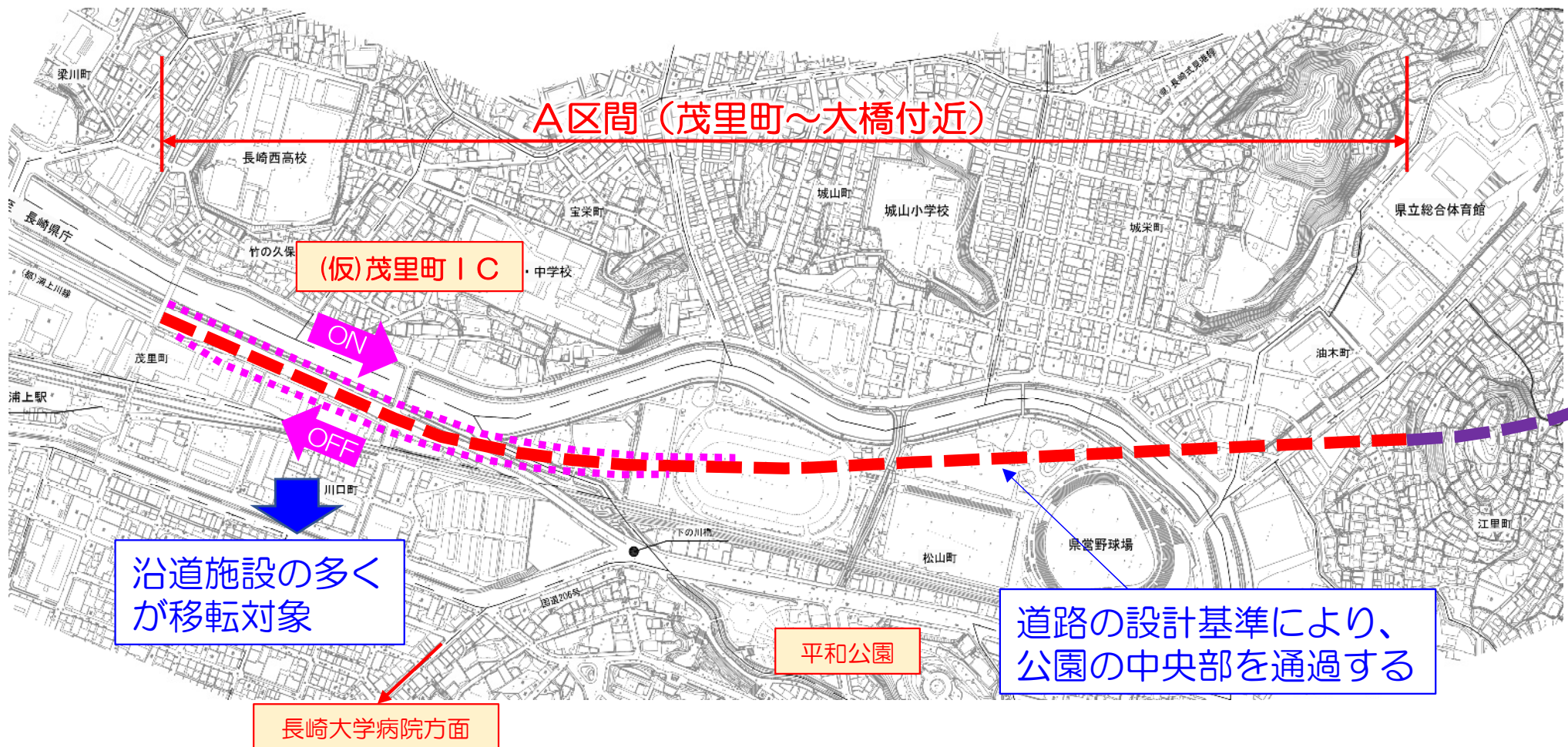
B区間：市街地と山地の中間付近を通るルート

C区間：滑石地区のインターチェンジと（仮称）時津インターチェンジを最短で結ぶルート



## 2. ルート選定の経緯（インターチェンジの位置の検討）

### ■ 茂里町にインターチェンジを設置した場合

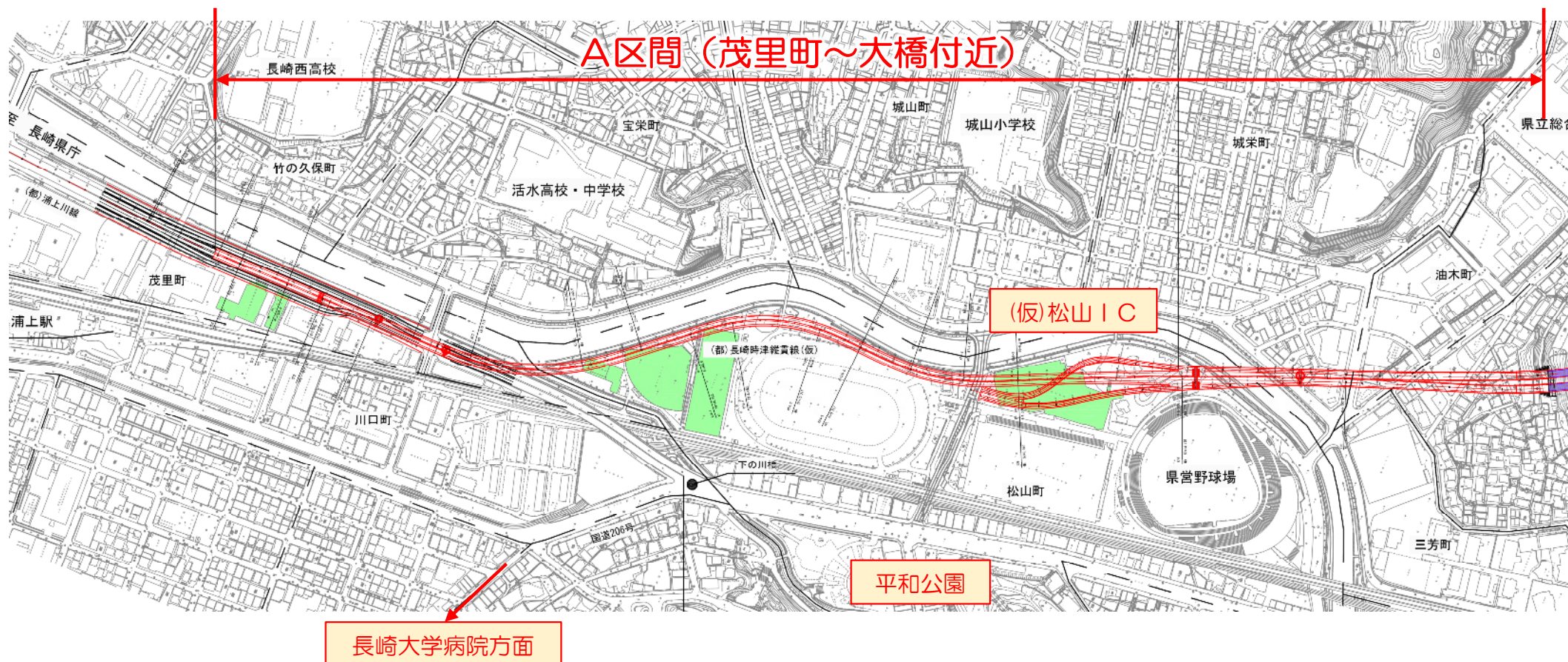


- 茂里町の浦上川線に接続するインターチェンジを設置した場合、多くの沿道施設（比較的大きな建物）が移転対象となる
- 道路の設計基準により、公園の中央部を通過するルートとなる
- 長崎大学病院や平和公園へは道路を迂回する必要がある



## 2. ルート選定の経緯（インターチェンジの位置の検討）

■松山町の市民プール跡地を活用し、市道松山町線に接続する松山ICに変更した場合



- 茂里町付近で移転が必要となる比較的大きな建物が大きく減少する
- 長崎南北幹線道路本線が浦上川沿いのルートとなり、公園施設への影響が少なくなる
- 長崎大学病院や平和公園などの周辺施設へのアクセス性が改善する



## 2. ルート選定の経緯（都市計画決定の手続き）

### ■都市計画の説明会（令和3年6月）

- ・長崎市5回、時津町2回 合計222名が参加



説明会の様子（R3.6.16 県立総合体育館大研修室）



説明会の様子（R3.6.17 滑石公民館）

### ■都市計画案の縦覧（令和3年8月）

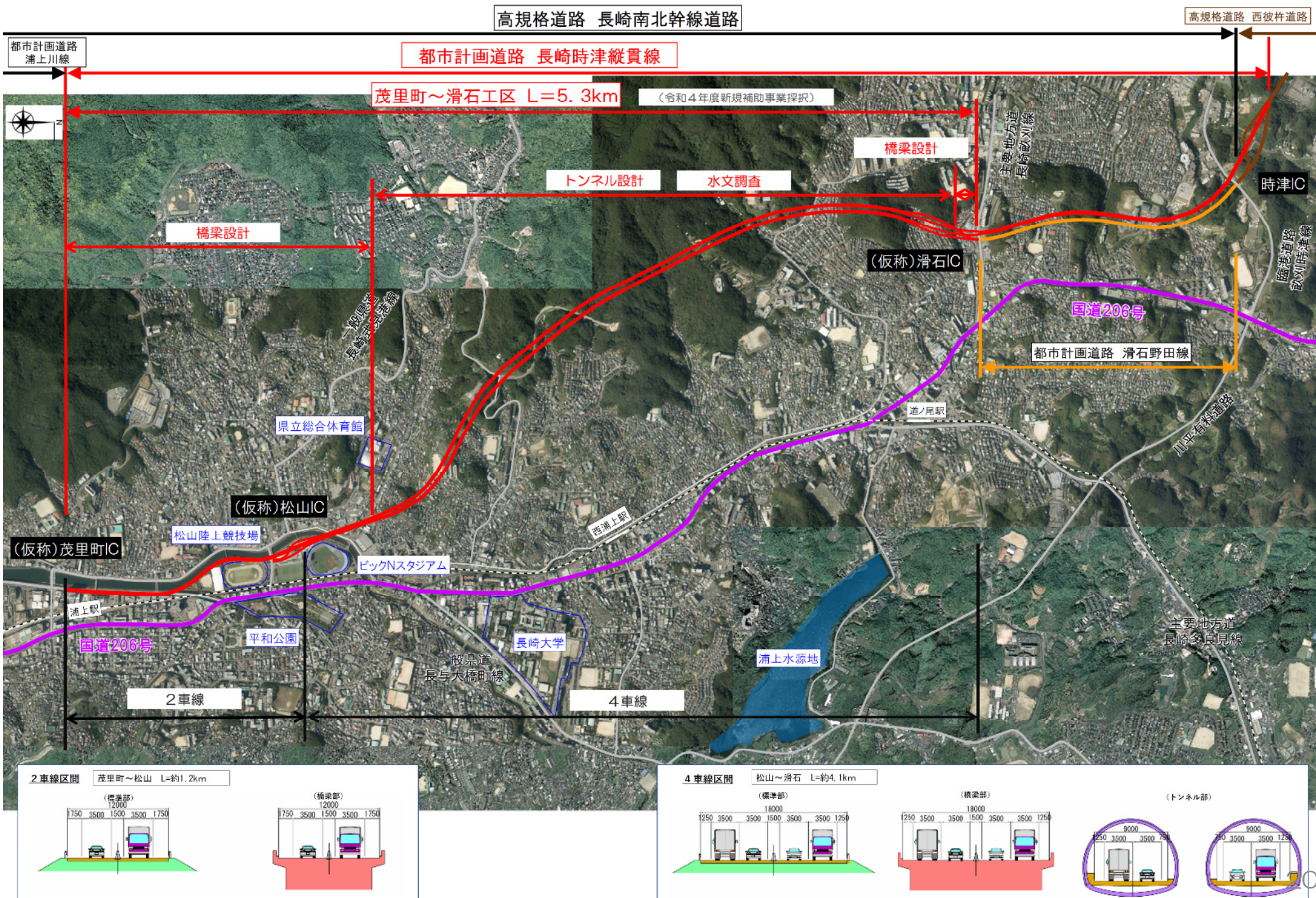
- ・意見書の提出 14通（利害関係人13通、関係市町村の住民1通）
- ・意見書の内容（道路計画、トンネル工事による影響、補償、その他全般）
  - ※松山ICについて 「松山ICが接続する市道が慢性的に渋滞する」というご意見  
⇒「適切な交通処理対策を検討し、今後丁寧に説明する」と回答

### ■長崎県都市計画審議会（令和3年10月）

- ・議案：長崎都市計画道路（1・4・4号 長崎時津縦貫線ほか3路線）の変更について  
⇒ 原案のとおり可決し、令和3年11月に都市計画決定・告示



# 3. 進捗状況及び今後の予定





今後とも県事業に対する皆様方の  
ご理解とご協力を宜しくお願い  
いたします。

